11.長時間労働、有給休暇の取得しづらさ、柔軟な働き方のしにくさの課題が残っている

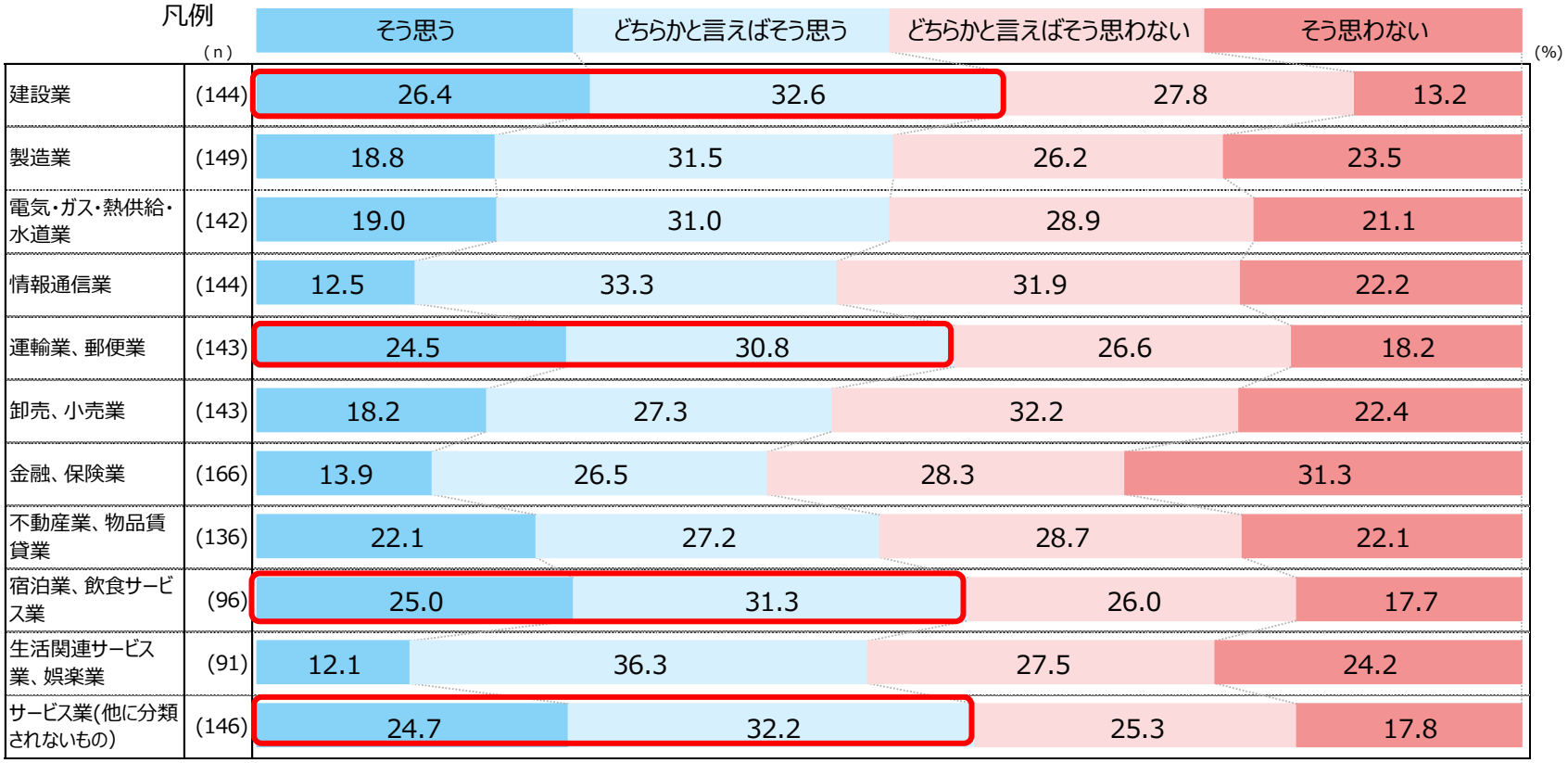
©2022（公財）21世紀職業財団

いくつかの業種で、男性の半数以上が長時間働くことが多いと感じている

- 301 人以上の企業の男性について業種別に長時間労働について見たところ、建設業で59.0%と最も高く、次いで、サービス業で56.9%、宿泊業、飲食サービス業で56.3%、運輸業、郵便業で55.3%である。

【301人以上企業　男性：業種別】長時間労働

Q19_3.あなたは残業や休日勤務など長時間働くことが多いですか



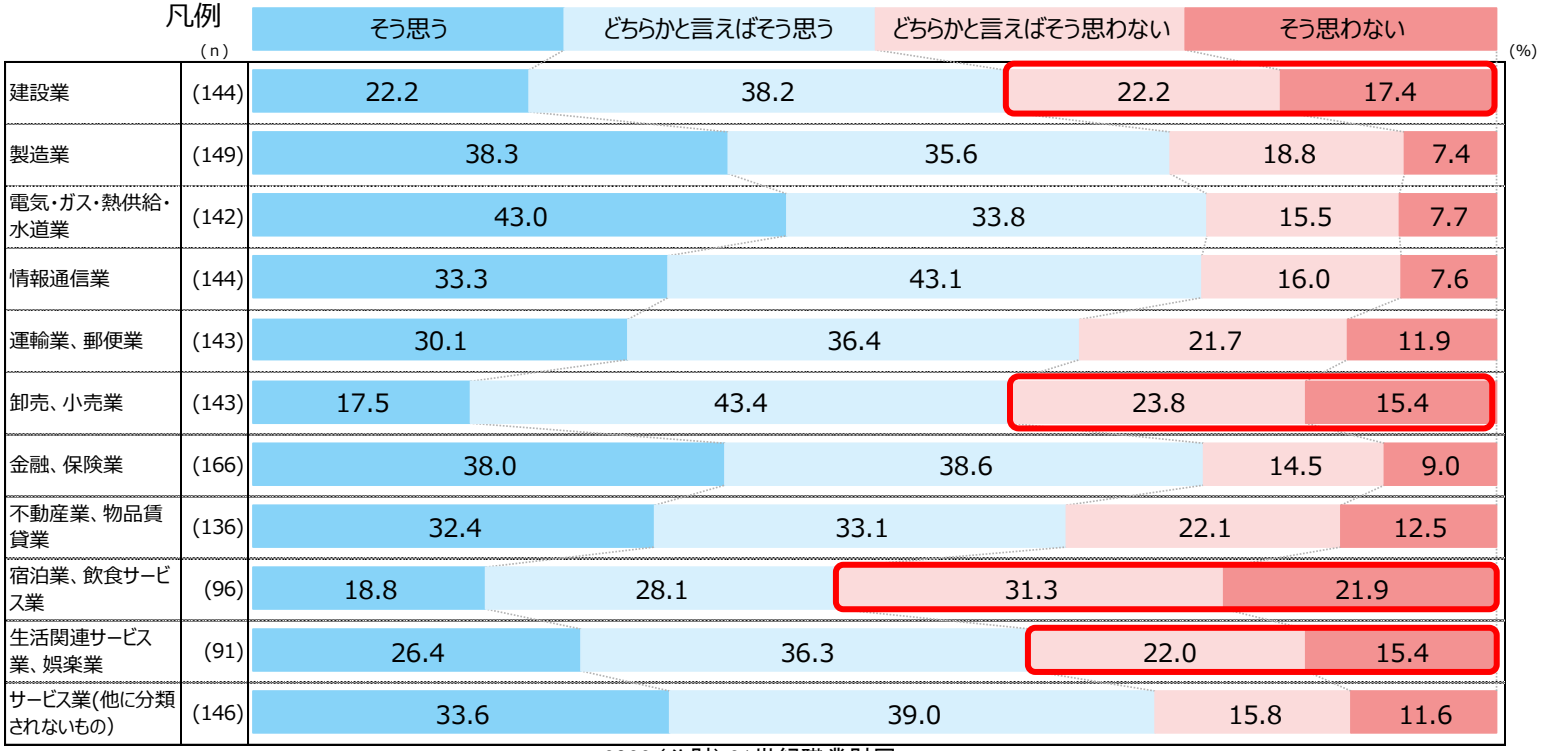
©2022（公財）21世紀職業財団

宿泊業・飲食ｻｰﾋﾞｽ業では半数以上の男性が有給休暇を取得しにくいと感じている

- 301 人以上の企業の男性について業種別に有給休暇の取得のしやすさを見たところ、（「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」）と回答した人の割合は、宿泊業・飲食サービス業で53.2%と最も高く、次いで、建設業で39.6%、卸売・小売業で39.2 %、生活関連サービス業・娯楽業で37.4%である。

【301人以上企業　男性：業種別】有給休暇の取得のしやすさ

Q19_4.あなたは有給休暇を取得しやすいですか



©2022（公財）21世紀職業財団

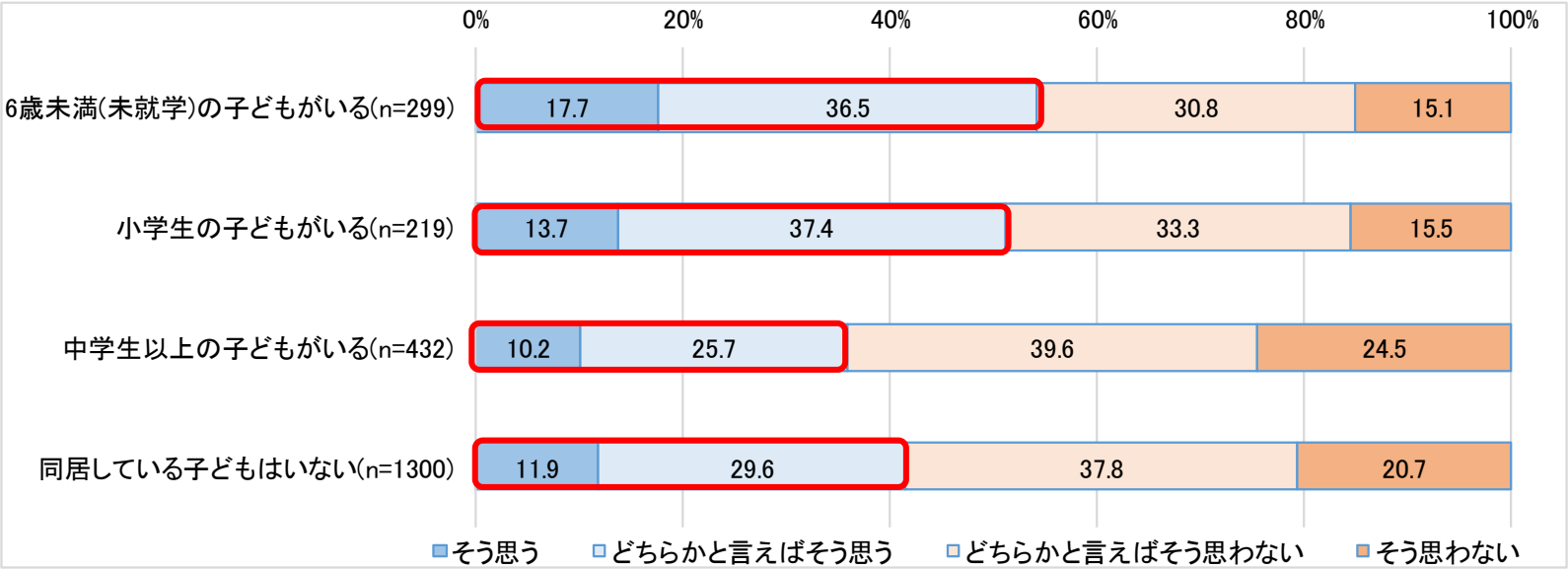
要約版

幼い子どもがいる男性の半数以上は、上司が躊躇なく幼い子どもがいる男性に残業を命じていると思っている

- 長子の年齢が未就学または小学生である男性のうち5割を超える人が、上司が躊躇なく幼い子どもがいる男性に残業を命じていると思っている
- 一方、幼い子どものいない男性では、その割合は4割前後と相対的に低い。

【男性：長子の年齢別】

Q19_5.あなたの上司は、幼い子どもがいる男性に、躊躇なく、残業が必要な仕事や急な残業を命じていると思いますか※実態がわからない場合はイメージでご回答ください



©2022（公財）21世紀職業財団

要約版

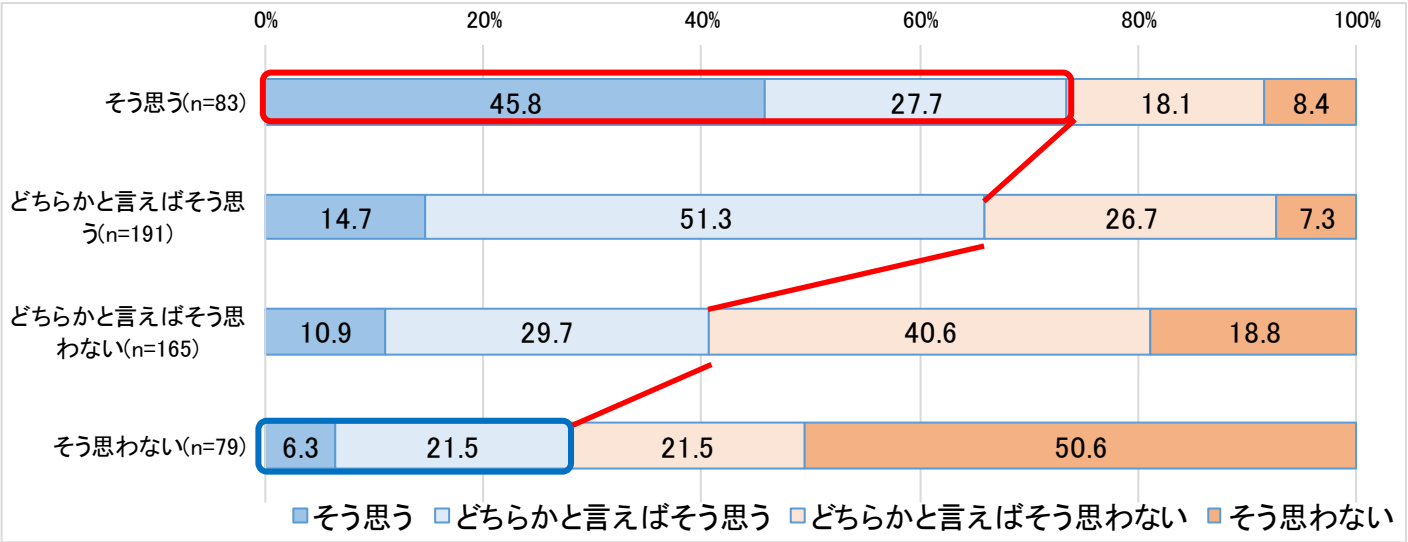
幼い子どもがいる男性に躊躇なく残業を命じる上司だと、幼い子どもがいる男性部下の残業時間が長くなる

- 未就学児・小学生の長子がいる男性において、上司が幼い子どもがいる男性に躊躇なく残業を命じている場合、長時間働くことが多い（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」）と回答した人の割合は73.5%と高い。
- 一方、上司が幼い子どもがいる男性に躊躇なく残業を命じていない場合、長時間働くことが多い（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」）と回答した人の割合は27.8%と低い。

【未就学児・小学生の長子がいる男性】
幼い子どもがいる男性に対する上司の残業命令別長時間労働

.Q19_3.あなたは残業や休日勤務など長時間働くことが多いですか

Q19_5 あなたの上司は、幼い子どもがいる男性に、躊躇なく、残業が必要な仕事や急な残業を命じていると思いますか



©2022（公財）21世紀職業財団

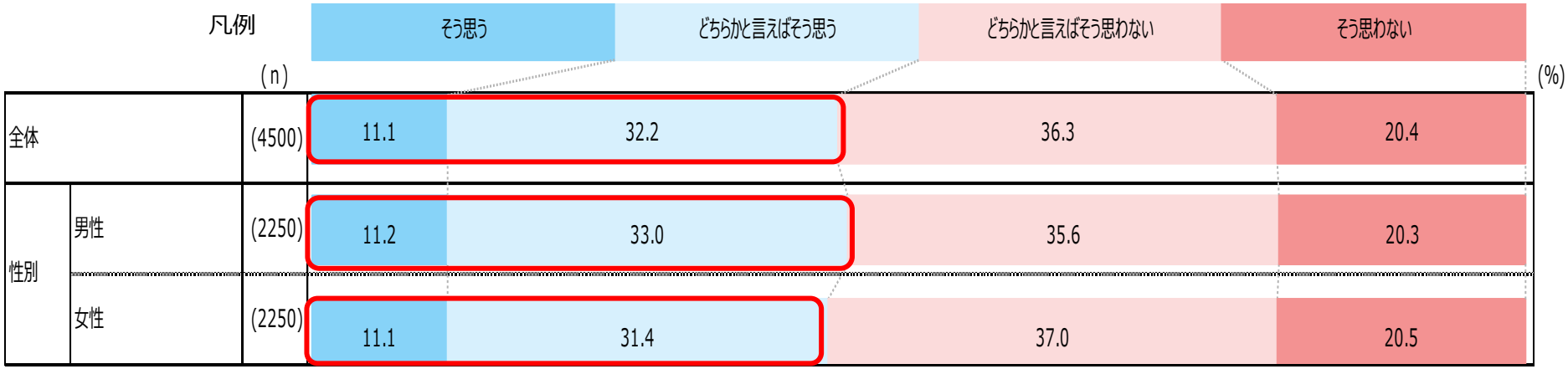
要約版

長時間仕事をする人が高く評価されると思っている人が4割を超えている

- 長時間仕事をする人が高く評価されると思う（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」）と回答した人が全体で43.3%と4割を超えている。
- 男女別に見ると、男性で44.2%、女性で42.5%である。

【男女別】長時間労働の評価

Q19_6.あなたの職場では長時間仕事をする人が高く評価されると思いますか



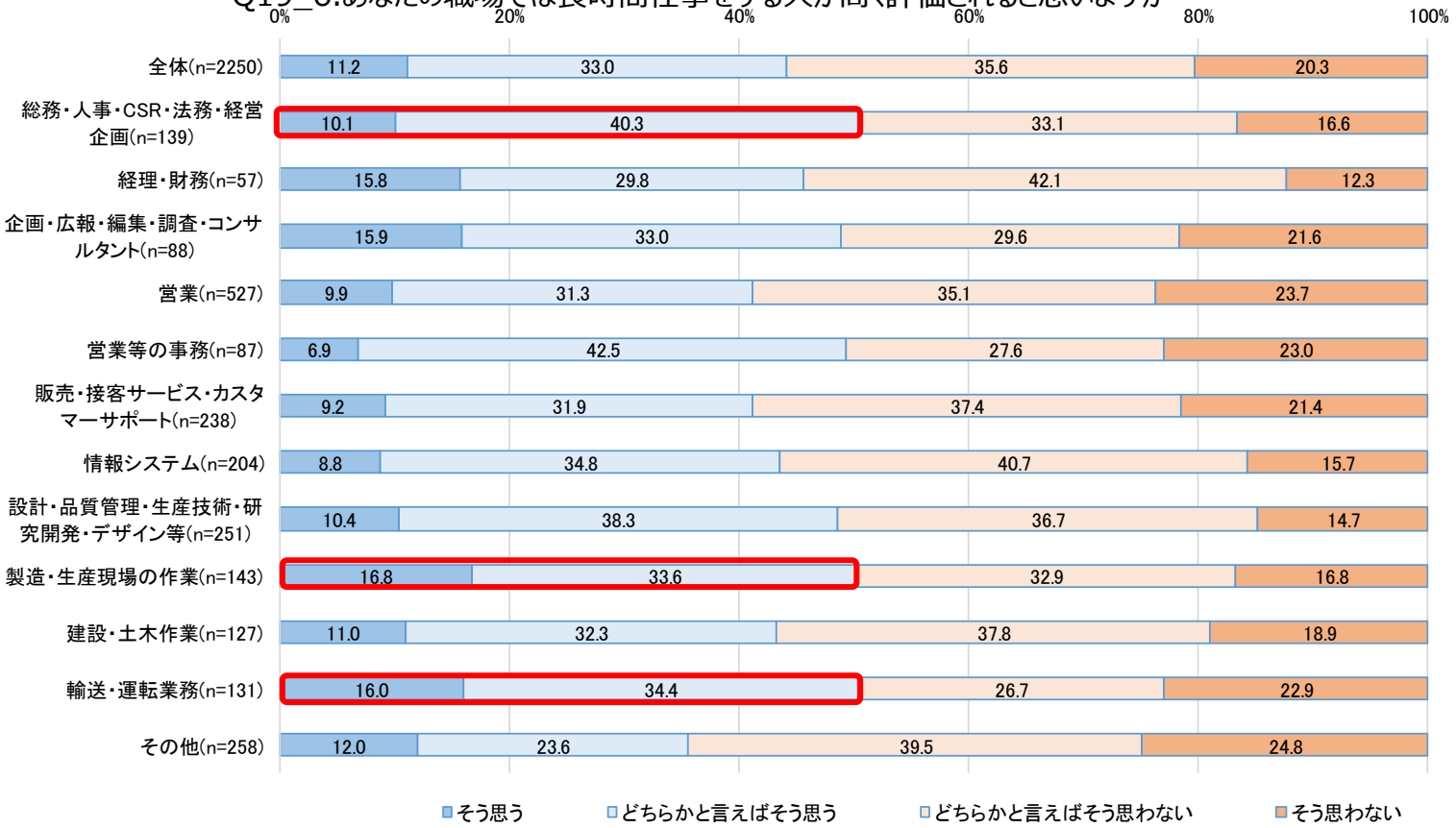
©2022（公財）21世紀職業財団

長時間仕事をする人が高く評価されると思う割合が男性で5割を超える職種がある

- 男性で長時間仕事をする人が高く評価されると思う（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」）と回答した人が5割を超えている職種は、総務・人事・CSR・法務・経営企画、製造・生産現場の作業、輸送・運転業務である。

【男性：職種別】長時間労働の評価

Q19_6.あなたの職場では長時間仕事をする人が高く評価されると思いますか



©2022（公財）21世紀職業財団

要約版

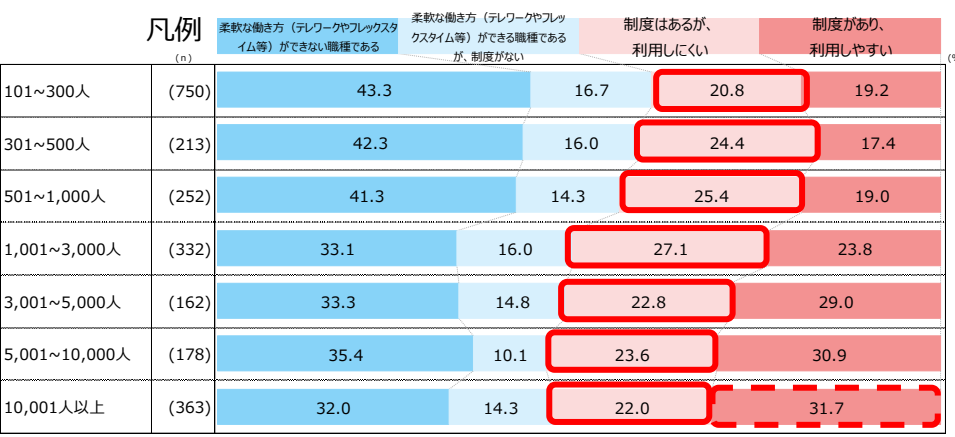
柔軟な働き方の制度が利用しやすい人は大企業でも約3割

- テレワークやフレックスタイム等柔軟な働き方について尋ねたところ、10,001人以上企業でも、「制度があり利用しやすい」と回答した人の割合は、男性で31.7%、女性で33.3%と高くない。
- どの規模の企業であっても、「制度はあるが利用しにくい」と回答した人が2割以上いる。制度を作るだけでなく、利用しやすくする必要がある。

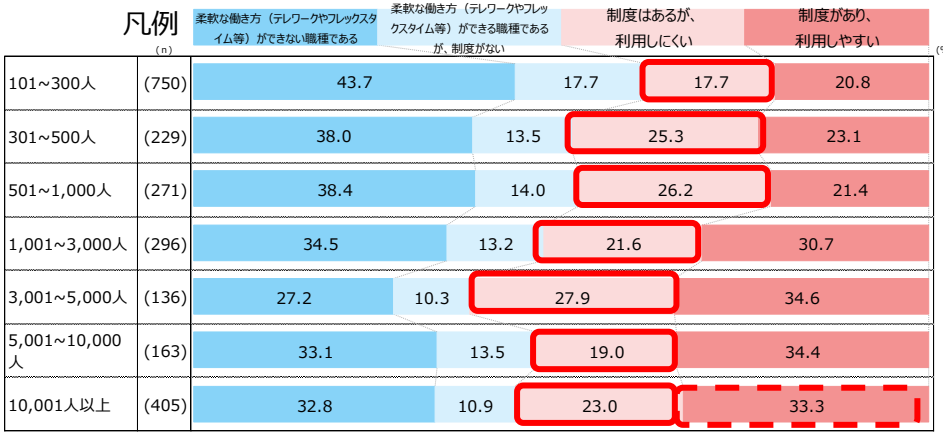
【男女別企業規模別】柔軟な働き方

Q20.あなたがお勤めの企業の柔軟な働き方（テレワークやフレックスタイム等）についてお伺いします。

＜男性＞



＜女性＞



©2022（公財）21世紀職業財団

要約版

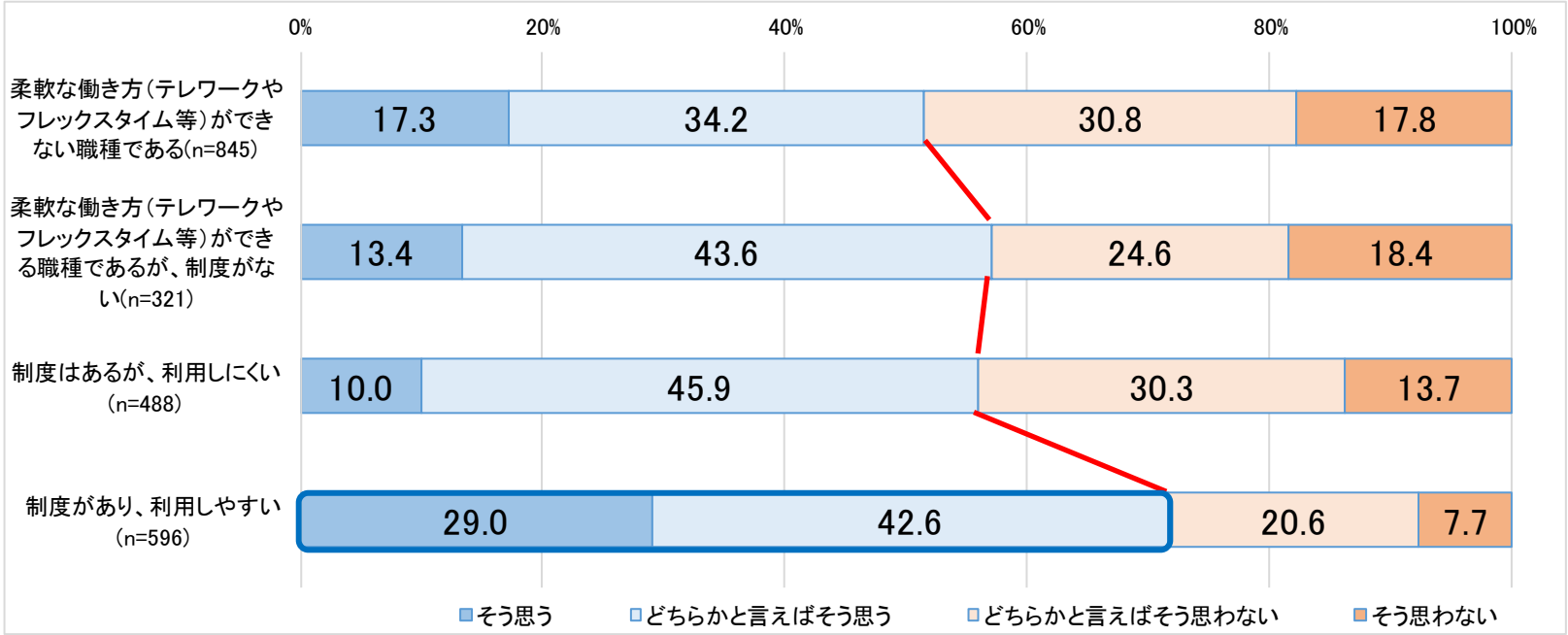
柔軟な働き方の制度が利用しやすいと、育児をしながらキャリアアップすることが可能だと女性が思う割合が高まる

- 女性において、柔軟な働き方（テレワークやフレックスタイム等）の「制度があり、利用しやすい」と回答した人は、育児をしながらキャリアアップすることが可能だと思う（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」）割合が71.6%と高い。
- 「柔軟な働き方ができない職種である」、「柔軟な働き方の制度がない」、「制度はあるが、利用しにくい」場合には、育児をしながらキャリアアップ可能だと思う割合は６割に満たない。

【女性：柔軟な働き方別】育児をしながらキャリアアップ

Q19_1あなたの職場では、育児をしながら働く女性が、キャリアアップすることは可能だと思いますか。
（※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げることを指します）

Q20 あなたがお勤めの企業の柔軟な働き方（テレワークやフレックスタイム等）についてお伺いします。



©2022（公財）21世紀職業財団

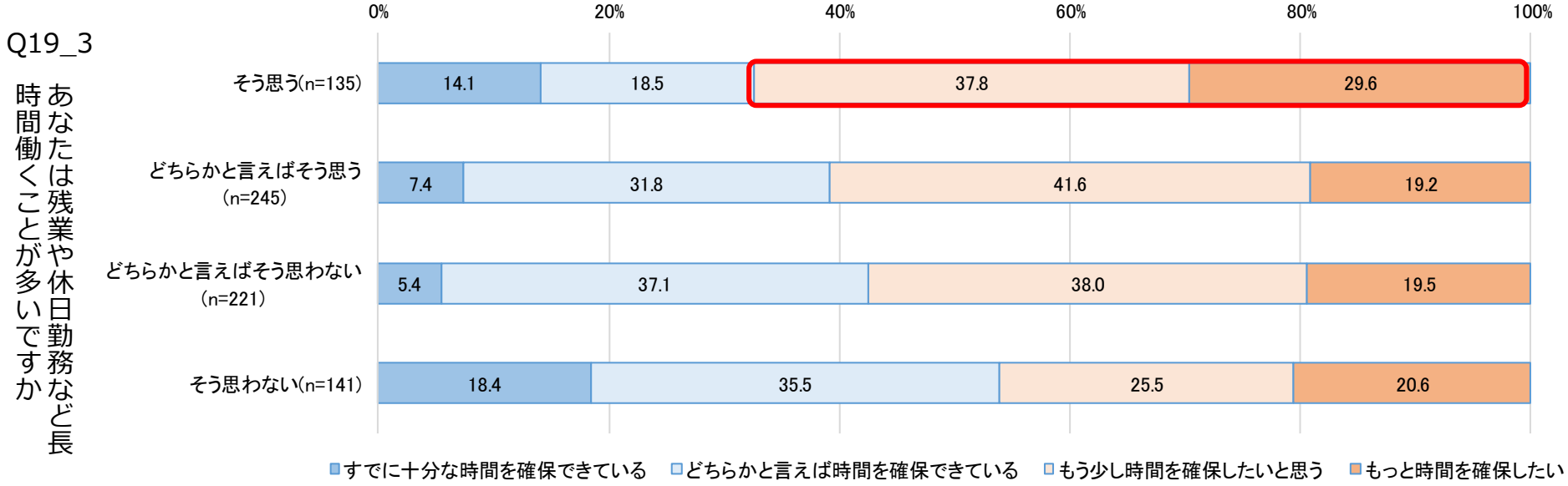
要約版

長時間働くことが多い男性の7割近くが、もっと育児に関わる時間を増やしたいと思っている

- 子どものいる男性で、長時間働くことが多い場合、「もっと育児に関わる時間を確保したい」人の割合が29.6%、「もう少し時間を確保したいと思う」人の割合が37.8%と、7割近くが現在よりも育児に関わる時間を増やしたいと思っている。

【子どものいる男性：長時間労働別】育児に関わる時間の希望

Q21.あなたはもっと育児に関わる時間を増やしたいと思いますか。



©2022（公財）21世紀職業財団